

温度が半分?!

吉田 一

猛烈な残暑から急激に涼しくなった秋分の日、夕方のニュース番組の報道では、関東地方の某所で前日に 34°C を超えた気温が、その日の日中は 18°C に届かなかった、とのことでした。小数点以下の値は覚えていませんが、 34 度台と 17 度台の数値を比べて、ということです。そんな気象予報士のことばに続き、女性アナウンサーが一言、

「半分くらいですね」ⁱ。

さらに数日後、こんどは他局のラジオ番組でも同様の「気温が半分くらい」の発言がありましたⁱⁱ。

「気温が半分」って、どういうことでしょうか。次のような場合はどうでしょうか。

- 10°C が 5°C になったら、やはり「半分になった」でしょうか。
- -5°C が -10°C になったら、寒さが「倍になった」とも言いますか？
- $+5^{\circ}\text{C}$ が -5°C になったら「 -1 倍」？
 -5°C が $+5^{\circ}\text{C}$ になっても「 -1 倍」？
- 10°C が 0°C になったら、「 0 倍」？
- 0°C が -10°C になったら、…？

温度は、日本など多くの国で使われている摂氏 ($^{\circ}\text{C}$) にしても、アメリカなどで使われている華氏 ($^{\circ}\text{F}$) にしても、基準の 0 度を人為的に決めた目盛りによっては

かられる種類の量です。 0 度だからといって「温度がない」わけではありません。ですから、温度は「何度上がる (下がる)」のように差でくらべることはできても、「何倍である」や「何%下がる」のように倍や比率でくらべることはできません。

長さはメートルで測った値でも、フィートで測った値でも半分は半分であることに変わりありません。しかし温度の場合、たとえば摂氏 10° は華氏 50° であり、摂氏 5° は華氏 41° ですので、片方が半分でも他方は半分の数値にはなりません。 17cm は 34cm の半分であっても、 17°C は 34°C の半分ではないのです。温度は「単位」といわず「尺度」といいます。(ただし、絶対 0 度を基準とする熱力学温度のケルビン(K)は比でもくらべられる単位です。) また、ものの固さを段階的に数値化した硬度は、大小の比較が可能だけで、比をくらべることも差をくらべることも意味がありません。

このように数で表現されていても、どのように数値化されているかによって比較のしかたには制限があり、それをまちがえると不適切な表現になってしまいます。しかし、くだんのアナウンサーたちの発言を考えると、きちんと教えられているとはいえないようです。

ⁱ 2010年9月23日、TBS「Nスタ」田中みな実アナウンサーの発言。

ⁱⁱ 同9月25日、NHKラジオ「文芸選評」鎌田正幸アナウンサーの発言。とはいえ、彼はよくボケるので、本気の発言かどうかは不明。